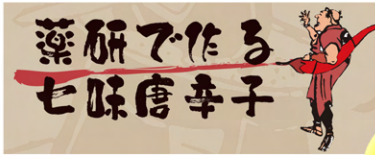


中富記念くすり博物館だより

2026年2月1日発行 No.343

イベント情報

2月
8.11.12.
14.15日



予約不要

大人気イベント今年も開催します。
薬研で七味唐辛子の材料をすり潰し、
削りたてで香り豊かな七味唐辛子をどうぞ。
辛さ、オプション（ゆず、レモン、にんにく）も
自分好みにアレンジできます。

参加費：700円/14g（缶付き）別途入館料

※材料が無くなり次第終了

3月28日 開館記念日 (入館料無料)
(土)

開館31周年を記念して入館料無料です。

イベント詳細はこちら↓



公式HP



Instagram



facebook



LINE@



紅茶

(税込：286円/2包入り)



開館30周年記念イベント

くすり健康 考えるフェスタ

3月20日「漢方エバンジェリストとまわる薬木薬草園観察会」
(金・祝) 10:15~11:00、11:15~12:00、12:15~13:00

「これなら分かる、薬草と漢方の講座」
13:30~15:30

参加無料 講師：加藤 久幸



3月
21.22日 くすり健康ワークショップ

「くすりの始まりは体質理解から～ (中国医学協会)
舌診・脈診で知る自分の身体～」

- ・舌診アプリ体験（5～10分）無料
- ・脈診・舌診プチ体質診断（10～15分 スタッフによる診断）無料

「いつでもどこでもツボ講座×魔法のツボ押し体験」
(ハリハリ)

- ・ツボ講座（20～30分）500円 各回定員5名
- ①10時～②11時半～③13時～④14時半～
- ・ツボ押し体験（15分）1,000円 ※講座受講者500円

「薬研を使って香り袋を作ろう」 (中富記念くすり博物館)

- ・薬研体験（約10分）200円

※全館清掃に伴う臨時休館のお知らせ
(2/17～2/19)

ご迷惑をおかけいたします

出会い、別れの“春”。お世話になったあの人や、卒業入学祝いに紅茶を贈ってみてはいかがでしょうか。ミュージアムショップでは佐賀県和紅茶専門店「紅葉(くれは)」の紅茶を2種類取り扱っています。甘くフルーティーな「アニバーサリー」とすっきり爽やかな香りの「いつもありがと」。商品名がそのままメッセージになり、味はもちろん上品な見た目のパッケージはあなたの温かい気持ちを伝えるのにぴったりです。バレンタインやホワイトデーのギフト、普段の生活にちょっとした一息としてもおすすめです。

薬草美術館 絵画の中の植物をご紹介します

本作《花瓶のそばで肘をつく女（菊のある婦人像）》は画家の友人ヴァルパンソン氏の妻と、画面いっぱいのキクを描いた作品です。場所はヴァルパンソン氏の別荘で、右端の窓から覗く自然豊かな田園風景からそれが読み取れます。描かれた花々はダリア、アスター、キンセンカ、ヤグルマギクなどすべて園芸品種「キク科」の植物であり、花瓶の手前には園芸用の手袋が置かれていることから、このキクは夫人が庭で採取し花瓶に生けたもので、この場面は一仕事終えひと息ついている瞬間と推測されています。ドガの絵画には花がたびたび登場しますが、この作品のように花の種類が判別できるほど丁寧に描き分けられているのは珍しいです。これは一説には「夫人が“キク科の植物のみ”を選別し生けることができる」知性の持ち主であることをほのめかしているといわれます。ちなみにキクは生薬「菊花(きくか)」として花びらを乾燥させたものを眼精疲労、解熱などに用います。

エドガー・ドガ《花瓶のそばで肘をつく女》メトロポリタン美術館（アメリカ）1865年

